

【Ⅱ ペテロの手紙3章】

「主はまた来られる。」



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

TLCCCの代表であるイスラエル・ヨーロッパチームが明日から派遣されますが、私達も祈りの課題を忠実に祈って参りましょう。新しい段階に入り、1年1年が重要な1年となり、大きく次の段階に入って行くポイントとなっていきます。風のひびきに耳を傾けつつ・・・

「まず第一に思い出してほしいことは、終末の時代にはあざける者が現われ、真理をあざけ笑い、思いつく限りの悪を行うということです。『本当にイエスはまた帰ってくると約束したのかい？それじゃあイエスはどこにいるんだい。この世界は造られた最初の日から、何一つ変わっていないじゃあないか。イエスが帰って来るなんてことはありっこないよ。』彼らは神様がかつてこの世界を大洪水によって滅ぼされたという事実にはわざと目をつぶっています。洪水が起ったのは、神様が命令して天と地を造り、周囲に水をめぐらされてから、ずっと後のことでした。神様は今の天と地とを、最後の審判の日に火で焼き滅ぼすために、そのまま残しておくように、お命じになったのです。その日には、神様を恐れない者は、すべて滅ぼされます。

愛する皆さん、いいですか？主にとって一日は千年の様であり、千年は一日のようです。それで、再び主がおいでになるという約束が、なかなか実現しないので、時には一体どうしたのかとじれったく思うかもしれません。しかし主は、いたずらに日を伸ばしておられるのではありません。かえって**一人でも滅びないように罪人が悔い改める為**に、必要な時間を与えようと待っておられるのです。しかし主の日は、泥棒の様に思いがけない時に来ます。その時、天は恐ろしい響きを立てて消え失せ、天体は火だるまとなって崩れ落ち、地と地上のすべての物は、跡形もなく焼き滅ぼされてしまいます。この様に私たちの周囲の物一切が、溶けてなくなる運命にあるのです。そうであれば、私達はどれほど神さまを敬い、きよい生活を送らなければならない事でしょう。その日を今か今かと待ち望むだけでなく、その日を早めるようにしなければなりません。その日神様は天に火を放たれ、天体は火に包まれ解け去ります。しかし私達はその後、新しい天と地を造るという神様の約束を頂いています。そこには、神様の目にかなう正しい人たちだけが住むのです。愛する皆さん、あなたがたはこれらの出来事と主が再び来られることを、待ち望んでいるのですから、罪を避けて生きることにせいっぱい励みなさい。また、再びおいでになった主に喜んでいただけるよう、すべての人と平和に過ごさなさい。～」リビングバイブル3:3～14より

私達が生かされているのは、このイエス様を証して、滅びゆく人に救いを知らせ、共に再臨の主をお迎えできるように備える為です。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.10.27 No.760

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



二匹の魚と五つのパン

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

